

安全なくらしのために 自分にできることを考えよう！

小学4年生対象

目標

地域の安全(交通安全、防犯、防災等)を守るために、地域や関係機関が協力して取り組んでいることを調べ、地域の安全なくらしのために自分にできることを考えることができる。さらに安全・安心フェスティバルを計画し、地域安全のための具体的な提案を行うことを通して、地域社会に主体的に参画しようとする態度を養う。

プログラム概要

- ① 「安全」について多様な観点から考えることを通して、安全に対する関心を高める。
- ② 交通安全、防犯、防災など視点に分かれて、校区安全マップ等を作成する。
- ③ 地域の様々な安全のための取組を調べ、地域の安全のために多くの人が関わっていることを知る。
- ④ 地域や家庭と連携し、イベント(安全・安心フェスティバル)を実施する。

授業時間数

30時間

外部講師 教育資源の活用

見守り隊、自治連合会の方、警察官、消防士、市役所危機管理室など

主な教科等 関連教科等

主となる教科等:総合的な学習の時間
関連教科等:社会科、保健体育科、道徳

他の分野への応用

社会科(地域学習)、家庭科(食育)、キャリア教育

「子ども堺学」 ポータルサイトの活用

[トップ](#)→[教員ページ](#)

<http://sd.sakai.ed.jp/>

学習の流れ

① 「安全」について考えよう！

<経験・知識・自分たちの考え>

- 「安全」という言葉の意味を考える。
- 自分の暮らしにとっての「安全」を考える。
- みんな(学校・まち)の暮らしにとっての「安全」を考える。

② 「学校のなかの安全」について考えよう！

- 学校内の「危険」と「安全」を調査する。
- 調べたことを友だちと伝え合い、わかったことを学ぶ。

一人ひとりの調べたこと → 自分のグループ → クラス全体

③ 地域の「安全」を調べて、校区安全マップをつくろう！

交通安全

- 見守り隊や交通安全指導員の方や交通警察の方からお話を聞く。
 - 校区の安全マップをつくる。
 - 調べたことを友だちと伝え合い、わかったことを学ぶ。
 - 地域の人々を招き、調査の結果を聞いてもらう。
- ※校内の安全(歩行、遊び等)

防災(地震・津波)

- 防災について専門家の方(防災行政関係者など)からお話を聞く。
 - 地震など過去の災害について調べる。(体験談の聞き取りを中心に)
 - 調べたことを友だちと伝え合い、わかったことを学ぶ。
 - 地域の人々を招き、調査の結果を聞いてもらう。
- ※耐震・備蓄倉庫

防犯

- 街頭犯罪(ひったくり、空き巣、自転車盗)や不審者情報などについて警察官からお話を聞く。
 - 調べたことを友だちと伝え合い、わかったことを学ぶ。
 - 地域の人々を招き、調査の結果を聞いてもらう。
- ※校内の不審者対応など

*一つのテーマについて校区を分担して調査することも可

④ 調べたことをクラスで共有しよう！

- 作成した校区安全マップをもとに調べたことを発表する。
- 安全に対する取組を知り、自分や自分たちにできることを考える。

⑤ 安全フェスティバルで自分たちの考えを提案しよう！

- イベント(安全フェスティバルなど)を企画し、実施する。
- 児童、教員、地域の人々が参加し、「安全」について知識と考えを共有する。